

## 野洲町における住民活動促進のための課題と展望について

受託自治体：野洲町(滋賀県)

### 【調査の目的】

住民・企業・行政をはじめとするさまざまな人々の参画とパートナーシップによる地域づくりを進めるため、住民活動の促進方策を検討し、住民と行政の協働のあり方を示していくとともに、住民活動の拠点となる「(仮称)ほほえみ情報交流センター」の利用法等を研究することを目的とする。

### 【調査の方法】

町内で住民活動をしている住民 20 名により「住民活動モデル調査検討委員会」を設置し、野洲町内で活動する住民活動団体及び区・自治会に対してそれぞれヒアリング調査及びアンケート調査を行い、課題やその解決方法等の検討を行った。

#### 1. 住民活動団体

ヒアリング調査は 80 団体に対して行い、アンケート調査はヒアリング調査対象外の 198 団体に送付し、129 団体から回答を得た。

#### 2. 区・自治会

ヒアリング調査は 8 団体に対して行い、アンケート調査はヒアリング調査対象外の 59 団体に送付し、47 団体から回答を得た。

### 【調査結果】

#### 1. アンケート調査結果の概要

##### 1. 住民活動団体

主な活動分野(複数回答)は「文化や芸術」が 80 団体(40.0%)で最も多く、次いで、「教育や生涯学習」75 団体(37.5%)、「青少年の健全育成」が 41 団体(20.5%)となっている。平成 13 年度の予算総額は 30 万円未満の団体が 6 割を超えている。活動上の課題については、「会員の固定化」が 114 団体(57.0%)、次いで「事業や活動資金の不足」90 団体(45.0%)、「リーダーや後継者が育たない」82 団体(41.0%)となっている。

行政に期待することは、「会合等で自由に利用できる場所や機材の提供」、「住民の理解と参加を促すための活動情報の PR や発信」、「金銭的な支援」が多い。

##### 2. 区・自治会

主な活動分野(複数回答)は「運動会などのレクリエーション」52 団体(94.5%)が最も多く、次いで「人権学習」、「河川や道路などの美化活動」47 団体(74.5%)となっている。平成 13 年度の予算額は 200 万円以上の団体が約 6 割を超えている。活動上の課題(複数

回答)としては、「リーダーの負担が重い」38団体(69.1%)が最も多く、次いで、「活動内容のマンネリ化」31団体(56.4%)、「若年層の参加が少ない」30団体(54.5%)となっている。行政に期待すること(複数回答)は、「施設整備などに対する経費の援助」、「自治会と行政がともにまちづくりに取り組めるような機会を増やす」、「専門家による助言」が多い。

## **2. 住民活動の促進方策**

### **1. 目標「誰もが住民活動を気軽にしよう」**

#### **2. 方針**

1. 活動成果の発表の機会や行政事業等への参画機会の拡大
2. 活動の場、資金、情報の充実による活動の基盤強化
3. 他団体との交流などによる活動を継続・拡大する輪づくり

#### **3. 住民と行政との協働のあり方**

1. 協働のルールづくり
2. 協働の機会づくり